

- 開催日時：2020年（令和2年）9月2日（水）午前10時30分～午後0時30分
- 開催場所：市役所5階第2会議室
- 出席委員：伊藤裕夫委員長、富岡幸一郎副委員長、山崎稔恵委員、奥野花代子委員
- 欠席委員：なし
- 事務局：文化スポーツ課 阿万野課長、土屋係長、鬼原主任、浅川主事
- 会議の公開・非公開：公開
- 傍聴者数：0名
- 議題：1 令和元年度事業に関する評価について
2 令和2年度（令和元年度対象）逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書について
3 その他
- 資料：【事前送付資料】
 - 資料1 令和元年度事業に関する評価報告書（案）
※委員の意見まとめ（案）まで記入のもの
 - 資料2 令和2年度（令和元年度対象）逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書（案）一部抜粋
※自己評価まで記入のもの
- 【当日配付資料】
 - 次第
 - 名簿

■内容

1 開 会

定数の確認
資料の確認

2 議 事

（1）令和元年度事業に関する評価について

<議長（委員長）>

議題1「令和元年度事業に関する評価について」について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>

資料1をご覧ください。

資料2は、令和元年度の評価報告書（案）である。

（資料説明）

評価シートについて審議の後、総括等の審議をお願いします。評価シートの委員の意見の欄には、委員全員の意見と、まとめ（案）を記載している。委員の皆様には、まとめ（案）についての加

筆修正のご意見をいただきたい。評価シートは、文化振興基本計画の6つの柱ごとに意見をいただきたい。

(1) 地域の担い手の育成

<事務局>

((1) 地域の担い手の育成 委員の意見まとめ(案)の読み上げ)

<議長>

皆様の意見が反映されているかの確認を含め、修正等の意見をお願いします。

<奥野委員>

以下のとおり修正をお願いしたい。

- ・1行目「各種事業や、」の「、」を削除。
- ・4行目「幅広い層に対し」の後に「て」を追加。
- ・5行目「未来の」は「将来の」又は「今後の」に変更。
- ・5行目「担い手育成」を「担い手の育成」とする。
- ・下から2行目「また市民が豊かで充実した暮らしを送るために」を削除。
- ・下から1行目「環境を整える」を「環境を整える」とする。

<議長>

下から2行目「また市民が豊かで充実した暮らしを送るために」の削除は、その前の「当市全体の文化度向上のため」を活かすということによろしいか。

<奥野委員>

その通りである。

「資質の向上が図られる」については、アーティストがお互いの作品や活動を見ることで、自身をもっと上を目指すことにつながる、という意味である。

<議長>

資質の向上、については、この後の(2)市民文化活動の活性化、の委員の意見で、逗子アートネットワークに対して、仲間うちでの活動に偏り市民との間に壁が生じていないかという意見を書いている。この辺りについては私自身もまだ意見が固まっているわけではなく、むしろ地元市民の方が感じるどころだと思いが、いかがか。

<山崎委員>

資質の向上とは、逗子アートネットワーク自体の資質か。逗子アートネットワークに参加している者の資質か。

<奥野委員>

参加者である。

<議長>

参加者であれば、資質の向上というより、意欲の高まり、の方が適切と思われる。

<山崎委員>

資質とするなら、何についての資質の向上か、明確にした方が良い。

<奥野委員>

参加者の意欲の向上、という表現が良い。

<議長>

事務局は、修正を反映して案を作成してほしい。

<富野委員>

財政的支援について、現実的に全く財政的支援がないということか。そうであれば、まとめ案の最後から2行目「市として財政的支援を含め」ではなく、より積極的に「財政的支援を求める」とするのが相応しいのではないか。実際のところ、市として財政的支援は可能なのか。

<事務局>

平成30年度と令和元年度の2年間は財政対策プログラムにより財政的支援は無しとしたが、令

和2年度については財政的支援の予算化を図り、逗子アートフェスティバルについては負担金、逗子市文化協会については逗子市文化祭の施設使用料の半額補填をしている。

今後については、逗子アートフェスティバルはトリエンナーレ年のみ財政的支援を行い、それ以外の年は人的支援や公共施設の会場使用等の支援を行う方針である。逗子市文化協会（逗子市文化祭）は、施設使用料の半額補填を毎年度継続していく予定である。

<富野委員>

「財政的支援を求め」とした方が、より市に対してインパクトが強いと思うがいかがか。

<議長>

特に逗子アートフェスティバルについては、現在のような形で行われていくか分からない。トリエンナーレありきでの市の方針であるが、同じ形で何年も実施するのはいかがかと思う。行政としては「財政的支援を含め」というニュアンスが入っている方が良いと思う。最後の「望ましい」を「求められる」と修正されたい。

評価としては、全員意見が一致しているので「a. 順調である。」とする。

(2) 市民文化活動の活性化

<事務局>

((2) 市民文化活動の活性化 委員の意見まとめ(案)の読み上げ)

<議長>

修正等の意見をお願いします。

<奥野委員>

以下のとおり修正をお願いしたい。

- ・1行目「支援の拡充」を「支援・拡充」とする。
- ・2行目「反省を活かし」の後に「、」を入れる。「このほか、」の「、」は不要。
- ・4行目「意義が認められる」を「意義は認められる」とする。
- ・下から6行目「中間支援組織」について、具体的な説明が必要と思う。
- ・下から5行目「企画公募」を「企画・公募」とする。「期待できる」は「思われる」又は別の表現とするのが良い。

<議長>

下から5行目「市民からの企画公募」については、「・」をいれると意味が変わる。市民からの企画の公募であるので、「・」を入れるのではなく、「の」を入れるのが良い。(市民からの企画の公募)

「中間支援組織」については、注釈等を入れるか、一文削除でもよい。

「中間支援組織」とは、市民が文化活動をするときに、活動同士をつないだり、行政とのつながりを作ったりする、コーディネートする役割のことである。専門家というより、一定程度の経験を持った人が行うことが望ましい。日本でも20年前位から「中間支援組織」と言われることが増えたが、本来の意味では「仲介」である。

逗子アートネットワークについて、とてもよく機能していることと、仲間うちでの活動に偏りつつあるという二つの面を示したいと考えた。かつての逗子市文化協会も、そういう傾向がうかがえた。あえてこのような指摘を入れるべきか、ご意見をいただきたい。

ホールの「市民企画募集」について、決して入場率が高いとは言えない企画が多い。これも内輪の事業になっていることが多く、そうした点はホールの担当者が上手く調整していくのが良いと思う。市民活動の危うい点として、好きな人同士が内輪で集まってしまおうという傾向についてはどこかで指摘するのがよい。

<富岡委員>

市民企画公募が間に合わなかったというのは、公募をしなかったのか。

<事務局>

公募はしなかった。

<議長>

逗子アートネットワークでは、企画について活発に議論が行われ、そのこと自体は素晴らしいことなのだが、その結果市民参加の機会は失われてしまったということだ。逗子アートネットワークは、自分たちで文化活動をしたいという人が集まっているが、市民の文化活動を支援するというもう一つの面も持ってもらいたいと思う。彼ら自身も意識はしていると思うが、結果的に自分たち以外の活動が後手に回っている。

<富岡委員>

「一般市民への参加と連帯を促す視点が弱い」とすると、市民に対する視点への要望としての意見になると思う。

<議長>

市からの財政的支援があるときは、市として市民参加の機会を設けるよう求められるが、財政的支援が無い場合は難しい。

<事務局>

令和2年度については、自由企画（市民企画）の公募を行った。現在7企画を実施予定である。

<山崎委員>

「一般市民への参加と連帯を促す視点が弱い」と入れる方が分かり易い。

<議長>

下から4行目の「2018年から」からの3行と、下から6行目の「中間支援組織」以降は削除する。

評価としては、「a. 順調である。」とする。

(3) 文化芸術に接する機会の拡充

<事務局>

((3) 文化芸術に接する機会の拡充 委員の意見まとめ(案)の読み上げ)

<議長>

修正等の意見をお願いします。

<奥野委員>

以下のとおり修正をお願いしたい。

- ・ 2行目「広報のあり方」の後に「、」を入れる。
- ・ 2行目「雅楽などあまり馴染みのないもの」を「馴染みのない催し」とする。
- ・ 3行目「ワークショップなど」の後に「を実施して」を入れる。
- ・ 下から3行目「積極的な働きかけや、」の「、」を削除。

<議長>

新春バレエの集客が良くなかった理由を明確にされたい。一般的に、初めての公演というのは概して入場率が低いですが、その後、2～3年経過して鑑賞した人からの口コミ等で徐々に広まるものではあるが。

特に問題が無ければ、奥野委員の修正を反映したもので、まとめとする。

評価としては、「a. 順調である。」とする。

(4) 文化芸術の活用による地域づくり

<事務局>

((4) 文化芸術の活用による地域づくり 委員の意見まとめ(案)の読み上げ)

<議長>

修正等の意見をお願いします。

<奥野委員>

以下のとおり修正をお願いしたい。

- ・ 1行目のはじめに主語を入れる。表題の「文化芸術の活用による地域づくりについては」又は「逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展については」等。
- ・ 5行目「今後更に」は「今後、更に」とする。
- ・ 7行目「自然の回廊プロジェクトについて」の後に「は」を入れる。
- ・ 「ホームページ掲載」を「ホームページへの掲載」とする。
- ・ 8行目「ウォーキングイベント」の後に「の実施」を入れる。
- ・ 「初めての展覧会開催」を「自然の回廊を紹介する初めての展覧会の開催」とする。
- ・ 下から5行目「文化財の範疇については」を「文化財の範疇は」とする。
- ・ 下から2行目「(ワーキングチーム等)し」の後に「て」を入れる。
- ・ 下から1行目「協力を得て」の後に「、」を入れる。

<山崎委員>

1行目の最初に主語的なものを入れるならば、「人材の発掘と連携については」がよいのではないか。

<議長>

最後の5行について、(6)文化振興のための環境づくりにも関係することなので、(4)のまともにも入れるかどうか意見を聞きたい。

<富岡委員>

文化資源の活用に関しては、必然的に組織横断的に動くことが必要だと思うが、そもそもそういうことができるのか。もし可能であるなら、ワーキングチームを立てるのがいいのか、新たに専門の課を立ち上げた方がいいのか。鎌倉市でもよく議論になるが、解決が難しい課題である。本市の場合、どの方法がより現実的と言えるか。

<議長>

どの方法が良いかは議論の余地がある。近年、文化庁では文化財を文化「資源」という考え方で捉えるようになった。そのような中、文化資源を活かすという意味で、従来の文化財所管である教育委員会だけに文化財について任せておいていいのか、という課題がある。

市としても、この課題に正面から向き合うことが重要だと思う。ワーキングチームや連絡調整会議等、市として有効な方法を検討すべきである。

<事務局>

現在は、関係所管間で現場レベルでの情報共有は行っているが、その先まで進んでいない。今後、廃止となった郷土資料館の活用が課題となるが、都市公園の中の一部の施設として扱うことになったため緑政課が所管となった。社会教育課、緑政課、文化スポーツ課の3課で情報共有をしているが、組織的な話し合いはしていない。

<富岡委員>

より機動的な動きを求めるのであれば「ワーキングチーム」という言葉は入れた方がよい。

<山崎委員>

最初の主語のことについては、議長と事務局にお任せしたい。

<議長>

これまでの意見を踏まえて、事務局で修正案を作成し、再度示してもらいたい。

<山崎委員>

最後の5行を活かすのであれば、評価は「b.概ね順調である。」が適当であると思う。

<議長>

最後の5行については、残すことを前提に検討されたい。

評価としては、「b.概ね順調である。」とする。

(5) 文化情報の収集と活用

<事務局>

((5) 文化情報の収集と活用 委員の意見まとめ (案) の読み上げ)

<議長>

修正等の意見をお願いします。

<奥野委員>

以下のとおり修正をお願いしたい。

- ・ 1行目「メディアを使用し」の後に「、」又は「て」を入れる。
- ・ 2行目「文化情報の収集と活用は」の後に「、」を入れる。
- ・ 「充実した豊かな暮らしを望む」は削除。
- ・ 「サービスとして」を「サービスの一環として」とする。
- ・ 7行目「工夫があってもよい」は、過去形「工夫があってもよかった」とすべきか検討の余地がある。その後に「今後に期待したい。」を入れる。
- ・ 8行目「収集し」の後に「、」を入れる。又は「収集・」とする。
- ・ 下から6行目「(逗子フォト事業の関係も含めた、)」の「、」を削除。
- ・ 「長期的な計画を、」の「、」を削除。
- ・ 下から1行目「望ましく思われる」は「望まれる」とする。

<議長>

カッコ内の説明が多くなってしまっているのので、なるべくカッコを外す方向で文章を整理してほしい。

情報ネットワークの構築について、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた国際対応についての充実を意見として書いたが、延期となってしまった。しかし、スペインセーリングチームとの交流会の実施もあったので、それも国際対応の中で活かせる内容である。この辺りについて、意見があったらお願いしたい。

2段落目の「一方で」から始まる文章について、「逗子フォト事業との関係も含めた、全体的なヴィジョン」とするのが良い。

<山崎委員>

「埋もれた文化資源を収集し整理する」は、「収集・整理」ではなく「収集し、整理する」か「収集して整理する」かが良いと思う。

<富岡委員>

「・」は「=」と同じ意味である。「収集」したものを「整理」する、という意味であれば、「収集し、整理する」が良い。

<議長>

(仮称) 逗子アーカイブスについて、毎年度課題として挙がってきているので、根本的に何とかしなければならない。

<富岡委員>

(仮称) 逗子アーカイブスの、中心となる活動組織がどこになるのかが課題である。鎌倉市の場合、民間団体が中心となってアーカイブスの整理をやっている。中世を対象とし、鎌倉文化館という展示場所も作り、整理したものを置いている。

<議長>

整理した文章を事務局から示してもらい、それを修正することとしたい。
評価としては、「b. 概ね順調である。」とする。

(6) 文化振興のための環境づくり

<事務局>

((6) 文化振興のための環境づくり 委員の意見まとめ (案) の読み上げ)

山崎委員から「社会教育課所管の社会教育講座における神奈川県立近代美術館葉山館との連携に際しては、文化スポーツ課から何らかの働きかけをしたか」という質問があったが、確認し

たところ、神奈川県立近代美術館葉山館から社会教育課に直接打診があり連携につながったことだったので報告する。

<議長>

修正等の意見を願います。

<奥野委員>

以下のとおり修正をお願いしたい。

- ・ 1行目の最初に「文化振興のための環境づくりについては、」を入れる。
- ・ 2行目の「改正文化芸術基本法」の前に「更に」を入れる。
- ・ 4行目の「維持管理」を削除。
- ・ 5行目の「地域の文化活動の」の「地域の」を削除。
- ・ 6行目の「また他の」を「また、」とする。

<議長>

最後の3行については全て削除して、(4)の意見まとめの下から4行目「活用のあり方を関係所管で検討する必要がある。」の後に「特に、郷土資料館の廃止を受けて」以降を入れて、全体的に文章をすっきりと書き直してほしい。自然の回廊プロジェクトのことを繰り返すのは少しくどいと思う。

<富野委員>

郷土資料館の構想はあるのか。

<事務局>

郷土資料館に所蔵されている資料の移動については場所等を社会教育課で検討している。建物の活用については、緑政課が市民の意見を聞きながら今後検討していく。ただし、活用については、かなりの修繕が必要ということである。

<議長>

市民の関心は、郷土資料館の建物そのものに強い。逗子の方は、明治・大正時代からの歴史を大切にしたいという意識が強い。関係所管が縦割りでない考え方でないに対応できないと思う。

<事務局>

市民からも意見交換をする際は、関係所管3課が出席するよう求められていた。

<議長>

評価としては、「b.概ね順調である。」とする。

<議長>

主旨、方法、総括について事務局から説明をお願いします。

<事務局>

主旨と、評価の方法については、令和元年度の内容に書き直している。総括については、あらかじめ委員長から意見をいただき、事務局でたたき台を作成した。

<議長>

総括に対する意見というより、本委員会として今後検討しなければならないことを示した。逗子市文化振興基本計画の重点事業の年次計画は前期・中期・後期に分かれているので、単年の評価ではなく、複数年に渡った動きについての評価をする必要があることが重要である。

もう一点は新型コロナウイルス感染症の影響である。自然災害も増えてきている中、文化がどうしたら不要不急なものとなるか。

総括のたたき台としては、各柱で意見をまとめており、この内容でよいと思う。他にご意見があればお願いします。

<奥野委員>

以下のとおり修正をお願いしたい。

(総括たたき台1ページ目)

- ・ 1行目「逗子市文化振興基本計画に掲げる4つの重点事業」とあるが、この前に「6つの柱」と基本施策について説明を入れる」
- ・ 4行目の「(1)『逗子アートフェスティバル』の継続」「(2)アウトリーチ活動の充実」の間に「及び」を入れる。
- ・ 7行目「担い手育成」を「担い手の育成」とする。「市民文化活動」を「市民の文化活動」とする。
- ・ 8行目「中間支援組織」以降の一文を削除。
- ・ 9行目「市立学校」を「公立学校」とする。
- ・ 下から7行目「ホール自主文化事業」を「ホールの自主文化事業」とする。
- ・ 下から2行目「配慮を行っている」を「配慮を進めている」とする。
(総括たたき台2ページ目)
- ・ 6行目「推進組織の設置等」を「推進体制づくり等」
- ・ 下から8行目「順調でなかった場合にあっては」の後に「、」を入れる。
- ・ 下から3行目「再認識すべき」を「再認識すべき」とする。「文化振興にかかる」を「文化振興に関わる」とする。

<議長>

最初の3行については、4つの重点事業について説明を入れる。

<事務局>

本日いただいた意見を反映させた修正案については、委員の皆様にご後日メール等でお送りする。また、最終の内容確定については、委員長の一任とさせていただきたいが、よろしいか。

<全委員>

(異議なし)

<事務局>

では、最終の確定は委員長と詰めさせていただく。確定後、評価報告書は事務局から教育長に報告する。

(2) 令和2年度(令和元年度対象)逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書について

<議長>

議題2「令和2年度事業について」について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>

資料2をご覧ください。

教育委員会の点検・評価であるが、評価報告書にある事業については、これまでの皆様の意見をまとめさせていただく。ない事業について、説明をする。

(資料2の3、4を説明)

<山崎委員>

資料2の3について、貸館利用者満足度が微減したとあるが、何か特別な理由があるか。そうした理由はきちんと把握しておいた方が良いのではないか。

<事務局>

理由としては特に報告を受けていないが、結果として微減しているということだ。指定管理者が微減について、どこまで把握しているかについては課題だと思う。

<議長>

誤差の範囲と考えても良いのではないか。

<事務局>

資料2の4について、平成30年度には「2022年までに10万人以上という目標はかなり厳しいが、入場者数は高水準を維持している。近隣施設(県立近代美術館葉山)との連携や広報活動に

おける工夫等を行っていることは評価でき、更に取り組みを図られたい。」という意見をいただいている。

令和元年度については、平成 30 年度に比べ入場者数が 1 万人減少した。

<議長>

入場者数が、本当に評価の対象になるのかどうかというところも議論である。6 割を割ると問題であるが、文化振興の貢献度は入場者数だけで測るものではない。ただし、入場者数が減少した原因はきちんと検証されたい。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減少もあるが、平成 30 年度からの事業の内容の変更による影響について、市民のニーズを把握ができていくかということも踏まえて、検証するように、意見としてまとめてもらいたい。

(3) その他

<議長>

本日の会議を通して、意見等あればお願いします。

<事務局>

逗子アートフェスティバル 2020 の進捗についてご説明する。

会期 10 月 9 日（金）から 25 日（日）までである。

平成 30 年度に引き続き、逗子アートネットワークが企画運営を行う。

3 年に一度のトリエンナーレとして開催する。

市からは負担金として 476 万円を出している。内訳は、文化庁の文化芸術創造拠点形成事業助成金、ホール指定管理者からの指定寄附金、市負担分である。

会場は、逗子文化プラザホールをメインに、亀岡八幡宮、池子の森自然公園 400 メートルトラック等である。

自由企画は 7 企画を予定している。

<議長>

以上をもって、すべての議事を終了する。

3 閉 会

以上